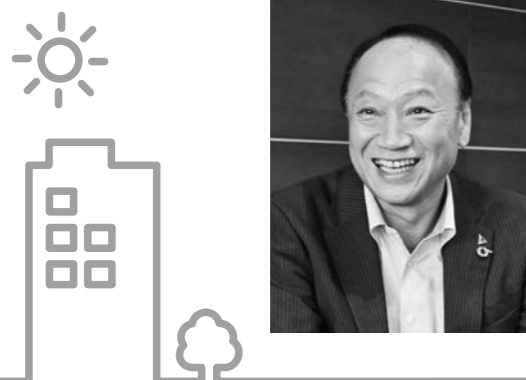


経営資料

No.161 会社訪問

代表取締役社長 内野 隆 氏



株式会社ダルトンメンテナンス

会社プロフィール  
 代表者：代表取締役社長 内野 隆  
 本社：〒104-0045 東京都中央区築地 5丁目6番10号  
 浜離宮パークサイドプレイス 15階  
 TEL：03-5148-8615（東京支店営業） FAX：03-5148-8617  
 営業所：仙台、名古屋、大阪、広島、九州（福岡）  
 設立：1999年（平成11年）4月1日  
 資本金：1,000万円  
 従業員：62名（2021年10月1日現在）  
 事業内容：ダルトン製品および他メーカーの研究・環境施設設備メンテナンス、修理・修繕・保守・管理業務他  
 URL：https://www.dalton-maintenance.co.jp

聞き手：岡田康弘（事務局長）、取材・撮影・編集：クリエイティブ・レイ株式会社



「快適なラボ環境を守る」というコンセプトを基に、メンテナンスに特化  
 他社メーカーの製品にも対応するエキスパート集団・ダルトンメンテナンス

御社の主な事業内容をお聞かせください。

弊社は、各種研究機関や学校、企業の研究所・開発センターなどラボ関連施設で使用されている様々な機器、装置のメンテナンスを行っている、メンテナンスに特化した会社です。

親会社は株式会社ダルトンです。ダルトンは研究開発とモノづくりの分野を中心に、ラボ環境、システム、機器類など一連の研究開発に必要なものをソフト、ハードの両面からトータルに提供してきた会社で、1939年（昭和14年）創業と長い歴史があります。弊社はそのダルトン製品のメンテナンスはもちろん、ダルトン以外のメーカーの製品・システムのメンテナンスにも対応しています。

1番の強みは、メンテナンス専門の会社であることです。メンテナンスしている機器や装置は非常に高度な知識や専門性が求められるものばかりですが、幅広い知識と豊富な経験を基に、適切かつ速やかな対応により、お客様からの信頼をいただいております。

具体的なメンテナンス例を教えてください。

局所排気装置、排ガス処理装置、また環境試験室などで使用される機器や装置です。ダルトンの主要製品であるドラフトチャンバーやスクラバーはもちろんのこと、クリーン

ルーム関係、バイオハザード・ナノマテリアル関係、恒温室や恒温恒湿室、低温室などで使用される一連の機器や装置の点検や修理などを行っています。

研究施設にて化学物質等を取り扱う際は、有害な気体や液体を適切に処理し、研究者や作業員の安全を守り、周辺環境に害を与えないラボ環境が整備されていなければなりません。そのためには、装置や設備が安定的に性能を維持しているかを検査し、不具合があれば修理するといった予見予知も含めた定期的なメンテナンスが絶対に不可欠です。このため各種法規により点検が定められています。弊社は厳しい目と高い技術で、安全で快適なラボ環境を確実に守り続けるために、尽力しております。

製品メンテナンスに特化した会社というのは、あまりないように思いますが、いかがでしょうか。

色々な機器を提供するいわゆるラボメーカーの中で、弊社のようにメンテナンスに特化した会社は少ないと思います。私が知る限り科学機器業界では、ダルトングループだけだと思います。

販売メーカーがその後のアフターフォローやメンテナンスを行うことは通常目にはしますが、弊社はそのメンテナンスを、独立した事業としているわけです。それは、ダルトン製品だ

経営資料

けでなく他社製品まで、しっかりとメンテナンスが出来る専門性の高い能力を有しているからこそ出来ることだと考えます。

例えば他の企業では、販売する営業マンや部署がメンテナンスも請け負っているかもしれませんが、その場合、メンテナンスよりむしろ、新規販売の方を考える必要に迫られます。対して弊社は、メンテナンスをどのように最良な形で進めていくかという考えに集中出来、また、そのために必要な資格、技術、法律的な知識を深めていくことが出来ます。そのようなことから、メンテナンスにおいては、一歩も二歩も秀でている点があると自負しています。

そしてダルトン製品については、納品後も高度なレベルで保守管理を行い、末永くご愛用いただき、老朽化した際はタイムリーな更新提案により最適なラボ環境をご提供するという「ダルトンサイクル」のご提案を通して、お客さまからの信頼をいただいております。

創業の経緯をお聞かせいただけますか。

親会社のダルトンに対し、納入製品へのメンテナンスの依頼が多くなる中で、メンテナンス部門を拡充する必要に

迫られたことがきっかけでした。メンテナンス作業は、通常の製品販売とは作業形態が異なるため、別会社にて取り扱う方が効率も良く、また専門性を高められ、お客様に寄り添っていただけるという判断のもと、1999年の4月に設立されました。メンテ事業に成熟したスタッフを選抜し、創業時は社員13人でスタートしました。

創業時のご苦労などはありましたか。

私自身は、創業時はダルトンの本社で営業をしていて、現在のようなメンテナンス業務のベースが出来た4年前に社長に就任しております。創業当時は何かと苦労が多かったと聞いております。当時を知る営業に話を聞くと、それまでは製品を納品したダルトンの営業マンがメンテナンスも見てくれていたところをグループ会社とはいえ、お客様とは初対面となる弊社の担当に切り替わることになかなか納得がいただけなかったと聞いております。この点に関してはメンテナンスという専門の知識により見積書の精度も高まり、内容も充実し、お客様にとってもプラスになりますと説明してきました。更には、ダルトン製品の適切な維持管理上の困りごとやラボ環境に関する課題の整理まで丁寧に

機器メンテナンスの一例

ドラフトチャンバー作業			
	風速測定検査	気流方向検査	絶縁抵抗値測定
	クリーンベンチ作業		
HEPAフィルター交換		フィルタリーク検査	風速測定
クラスパー作業 (排ガス処理層洗浄状況)			
	作業前洗浄前	配管スプレー高圧洗浄	作業後洗浄後



